Shokuhin News Neo -2017 August-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室
〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1−1 自然科学総合研究棟 2 号館 211 号室
電話 078-803-6553 E-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

オープンキャンパス

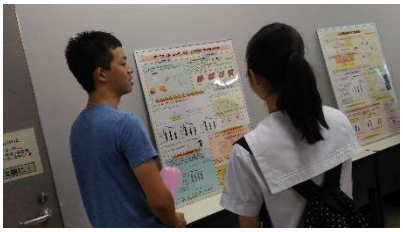
8月10日(木)、2017年度の神戸大学農学部オープンキャンパスが開催された。去年と同じく研究室で一つの教室を貸し切り、足を運んでくれた高校生と保護者に向けて簡単に研究室の紹介をした。その後、興味のあるポスターをまわって見ていただいた。
今回用意したポスターは以下の通りである。

① 食品の機能性
② 乳酸菌の腸炎抑制効果
③ 抗アレルギー効果を持つ食品因子
④ 発がん抑制効果を持つ食品因子
⑤ 腸管ホルモン分泌を介した EGCG の生体調節機能
⑥ 味覚と栄養状態
⑦ 研究の進め方について
⑧ 研究室の一日

高校生からは研究内容だけでなく、受験勉強や進路、大学生活など、様々なことについて質問を受けた。学生は皆それぞれ、自分自身の体験を思い返して真剣にアドバイスする様子が見受けられた。

準備したスライドを用いて研究室について紹介する米倉裕貴(M1)。スライド発表は朝から夕方まで30分おきに行ったが、どの回も席が全て埋まるほど多くの方が聞きに来てくれた。

高校生にポスター内容を説明する田代純輝(B4)。初めての参加でも落ち着いた様子である。



オープンキャンパスも3回目となれば慣れた様子の渡邊衛央(M2)。どうやらバルーンアートの途中だったようだ。

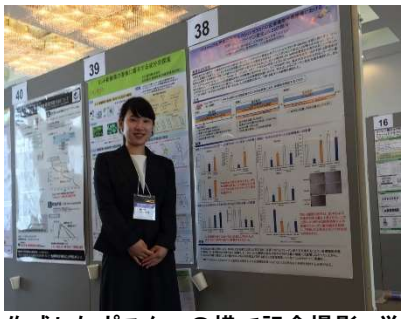
別室では高校生を対象にブロッコリーの花芽とタラの白子を用いて DNA 抽出を行う模擬授業が開講された。TA として高校生に説明する藤井美凪(M1、左)。

教室内にはポスターだけではなく液体窒素や顕微鏡など普段実験に用いる器具も展示し、いつどのように使って実験しているかという説明も行った。高校生にとっては、受験勉強の先にある大学生活や研究室のイメージが、より掴みやすくなったのではないだろうか。

また、今年もミニ水槽に移されたウーパールーパーのうぱねが入り口で研究室のアイドルとして来場者をお出迎えした。もちろん大人気だったようだ。

日本食品科学工学会 第64回大会

8月28日から30日にかけて、神奈川県の日本大学にて日本食品科学工学会第64回大会が開催された。本研究室からは竹村有裕美(M2)が参加し、ポスター発表と口頭発表を行った。本大会が初の学会発表となり、良い経験になったのではないだろうか。



作成したポスターの横で記念撮影。学会前は準備で忙しそうであったが、無事終わったようだ。お疲れさまでした。

学会発表

日本食品科学工学会第64回大会

日本大学湘南キャンパス

2017年8月28日(月)-30日(水)

○竹村有裕美、橋本堂史、大戸信明、桒原浩誠、水野雅史「パイナップル果実由来グルコシルセラミドの皮膚機能改善機構における TGF-β のコラーゲン産生と IL-23 の関与」大会講演集 P.158

編集後記

今回初めてオープンキャンパスに参加し、自分が高校生の頃に来た時のことを思い出しました。高校生のフレッシュさがとても眩しかったです。4回生は大学院入試まで勉強に追われ、慌ただしい日々が続きました。試験も終わり、また気持ちを新たに研究と勉強に励んでいきたいと思います。

丸岡 祐子(B4)